

大阪アーツカウンシルの状況

【進捗状況】

平成25年4月	大阪府市文化振興会議設置
平成25年5月	統括責任者公募
平成25年6月	統括責任者選考・決定
平成25年7月	アーツカウンシル部会委員選任、活動開始 (府市文化事業ヒアリング・現場視察、補助金審査)

【今後の予定】

平成25年11月頃	府市文化事業評価の中間まとめ
平成26年3月頃	今年度評価の全体のまとめ

○アーツカウンシル部会

佐藤 千晴	フリージャーナリスト	部会長【統括責任者】
佐野 光徳	株式会社クリスタル・アーツ代表取締役	(音楽)
山川 徳久	株式会社毎日放送事業局事業部マネージャー	(舞台芸術全般、複合)
山下 里加	京都造形芸術大学芸術学部 芸術表現・アートプロデュース学科准教授	(美術・デザイン)
山納 洋	大阪ガス株式会社近畿圏部 企画・開発チーム副課長	(演劇、ダンス、複合)

※ () は主な専門分野。

※この他、補助金審査のために委員を選任、実地調査のために各専門分野のアーツマネージャー(調査員)を委嘱。

大阪アーツカウンシルについて

(参考資料)

概 要

大阪の文化行政を推進する新たな仕組みとして、行政と一定の距離を置き、芸術文化の専門家等による評価、審査等を行う「アーツカウンシル」の仕組みを平成25年度に導入。

大阪府市の施策を統一的に推進し、パワーアップを図るため、府市共同により文化振興会議（審議会）を設置し、その部会としてアーツカウンシルを設置する。これにより、専門性・透明性・公正性を確保する。

大阪府市 文化振興 会議

府市の附属機関として、共同設置規約に基づき設置。文化振興計画の策定及び変更、文化施策に関する重要事項等に関することについて調査審議し、知事・市長に提言、答申等を行う。

アーツ カウンシル 部会

大阪府市文化振興会議の常設部会として設置。通称「大阪アーツカウンシル」

構成：部会長（通称「統括責任者」）をはじめ専門委員等により構成

機能：評価機能（府市文化事業の検証・評価及び改善提案、補助事業採択の審査

企画機能（新たな事業やパイロット事業などの企画、立案等）

調査（シンクタンク）機能（情報の収集、分析、提供）

文化振興会議との関係：

部会の審議状況・結果を文化振興会議に報告

文化振興会議に提案し、同会議で審議の上、知事・市長に提言

評価対象の 府市事業

H25年度の評価対象事業（当初予算ベース）

府市の文化担当課で実施している文化施策 約6.4億円（うち助成金約1.5億円）

（内訳：大阪府18事業約2.4億円、大阪市28事業約4.0億円）